

令和5年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立栗原小学校	校長	石川 順雄	生徒指導主事	渡邊 良平
取組事例名	『児童の主体性を育てる委員会活動の進め方』				

1 取組の設定	
取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
委員会活動を中心に、児童が自ら企画・運営し、学校全体を明るく楽しくする取組を行う。積極的生徒指導を推進することで、安全・安心な学校づくりをめざす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と力を合わせ、やり抜こうとする子（協調性）</li> <li>・児童が自ら考え、自ら取り組み、活動を楽しもうとする子（自己実現）</li> <li>・自分の思いを自分らしく表現し、行動に表そうとする子（思考力・判断力・表現力）</li> </ul>



2 展開	
取組の具体的内容	取組の創意工夫
<p>1 委員会の見直し・再編</p> <p>児童の主体的な活動を見直し、課題解決委員会やイベント委員会などを増やすなど、委員会を見直した。児童の主体性を高めるために、活動の目的、目標、結果と自己分析を行うように計画し、振り返りカードを開発した。希望をもとに集まった児童で活動目標や計画を立て、委員長などを選出するなど、組織作りを行った。活動内容は、常時活動とイベント活動に分けて活動するように計画した。活動内容は、掲示物作成や全校朝会での発表、イベント活動等、児童が自由な表現活動を選択して実施できるようにした。職員研修を実施し、委員会活動の進め方や留意点を伝達し、新年度スタートした。</p> <p>2 常時活動と表現</p> <p>安全で安心な気持ちの良い学校を作るために、自分たちができることを委員会ごとに考え、児童の主体性を大切にしながら活動を計画・実施した。例えば、保健委員会は手洗い石けんを補充したり、給食委員会は給食放送を企画したり、挨拶委員会は朝の挨拶運動を進めたりするなど、児童の主体的な活動が実施できた。当たり前で、地味な活動だが、毎回振り返りを実施し、全校朝会で活動内容を紹介したり、ルールを啓発したりするなど、表現活動へつないでいる。</p> <p>3 イベント活動と実際</p> <p>児童会は「楽しい学校を作りたい」という目標を持ち、イベント活動を実施した。7月に夏祭りイベント、12月にクリスマスイベントを企画し、学校全体を盛り上げた。</p> <p>夏祭りイベントでは、各クラスが創意工夫した模擬店を出し合った。射的や魚釣り、玉転がしや紐引きなど、誰もが楽しめるお店を作り、スタンプラリーをしながら全校児童が楽しむことができた。クリスマスイベントでは、児童会が全校児童にミッションを出し、宝探しゲームや音楽コンサートを開催した。児童会がシナリオを作ったり、ミートで各クラスをつないだりするなど、児童の主体的な活動が見られた。</p> <p>児童会だけでなく、体育委員会はドッジボール大会を企画するなど、各委員会で計画を立て、楽しい学校を作ろうと活動できた。</p>	<p>児童にめあてをもたせるために</p> <p>既存の委員会を整理したり、新たに新設したりするなど、組織を再編し、各委員会の役割や分担を明確にした。</p> <p>職員研修による意識統一を図り、自主性と責任感を高める指導を実施するようにした。</p> <p>児童の意欲を高めるために</p> <p>児童の思いを聞き、受け止め、計画を進めた。委員会によっては実現不可能と思えるイベントも存在したが、否定せずに企画・運営を支援した。</p> <p>運営するうちに修正が必要と児童が気づき、計画を見直す場面が多かった。</p> <p>児童の頑張りを認め、価値付けるために</p> <p>委員会振り返りシートを活用して、児童の満足感を調査している。常時活動への取組状況やイベント活動への参加など、児童が主体的に活動できたことを振り返るようにした。大きなイベント活動の後は、全校児童へのアンケート調査も実施し、企画・運営した委員会へのフィードバックを実施した。これにより、イベント活動がどれだけ学校に良い影響を与えたか理解でき、次時への意欲付けになっていた。</p> <p>委員会で活動したことを全校へ表現する時間も効果的だった。全校朝会で活動内容をクイズにしたり、気づきを全校へ返したりする等、価値づけになった。</p>



3 成果と課題
<p>○委員会活動を通して楽しい学校を作ろうとする児童の主体的な活動が年間を通して作ることができた。振り返りカード（4月2.7、5月2.6、6月2.7、7月3.0、9月3.1、10月2.7、11月2.8、12月2.8、1月3.0）</p> <p>○活動だけに終わらず、振り返って表現する活動まで実施できたため、児童の表現力を高める機会になった。（実施率100%）</p> <p>△毎月1回、年間で10回という委員会活動時間に制限があり、短時間で計画的に進める難しさがあった。</p> <p>△5・6年生を対象にした委員会のため、1～4年生にも同様の経験を計画する必要がある。次年度に活かす。</p>